

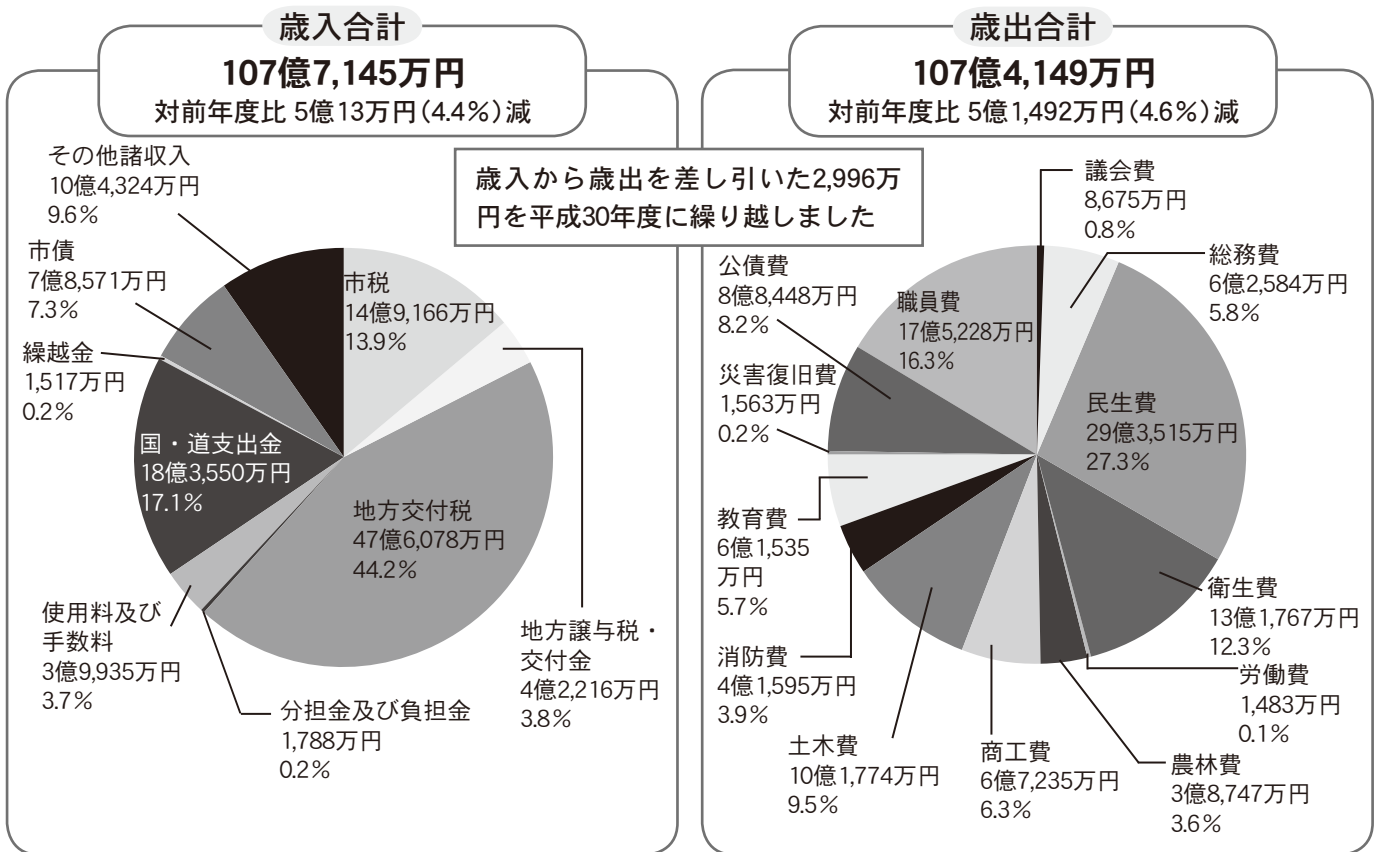
平成  
29年度

# 決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今月は、市の予算がどのように使われたのか、平成29年度の決算状況をお知らせします。

## 一般会計 福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額2,996万円から前年度の実質収支額150万円を差し引いた結果、2,846万円の黒字となりました。



### ◆市民1人あたりの歳入と歳出◆

※平成30年3月31日現在の人口(住民基本台帳・13,855人)で割って算出

歳 入			歳 出		
市税	皆さんが納めた税金	107,662円	議会費	議会運営にかかる費用	6,261円
地方譲与税・交付金	消費税の一部として交付されたお金や自動車取得税などから分配されたお金など	30,470円	総務費	地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用	45,171円
地方交付税	一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金	343,615円	民生費	高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用	211,848円
分担金及び負担金	保育料などの特定の利益を受ける方が負担されたお金	1,291円	衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	95,104円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の手数料など	28,824円	労働費	雇用や労働環境向上などに対する費用	1,070円
国・道支出金	市の事業に対し、国や道から交付されたお金	132,479円	農林費	農業振興や林業振興などの費用	27,966円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	1,095円	商工費	商工業振興や観光などの費用	48,528円
市債	国や金融機関から借り入れたお金	56,709円	土木費	道路、河川、公園などの費用	73,457円
その他諸収入	寄付金や財産収入など	75,297円	消防費	消防、救急活動の費用	30,022円
			教育費	小中学校、生涯学習振興などの費用	44,414円
			災害復旧費	災害が発生したときの復旧費用	1,128円
			公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	63,838円
			職員費	市職員の給与や退職金	126,473円

## 特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

会計名	予算額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
奨学資金	3,136万円	3,218万円	3,135万円	83万円
国民健康保険	26億9,644万円	24億9,037万円	25億4,833万円	▲ 5,796万円
下水道事業	5億9,682万円	5億9,029万円	5億9,017万円	12万円
介護保険事業	18億4,966万円	18億1,334万円	17億2,743万円	8,591万円
介護サービス事業	1億 904万円	1億 790万円	1億 790万円	0円
後期高齢者医療	2億7,638万円	2億7,427万円	2億7,410万円	17万円
合計	55億5,970万円	53億 835万円	52億7,928万円	2,907万円

## 企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

会計名	収支区分	収入	支出	収支差引額
病院事業	収益的収支	20億1,813万円	20億2,678万円	▲ 865万円
	資本的収支	2億2,401万円	3億1,864万円	▲ 9,463万円
水道事業	収益的収支	5億 193万円	4億6,751万円	3,442万円
	資本的収支	2億2,835万円	3億3,442万円	▲ 1億 607万円

## 市の財産

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。平成30年3月31日現在

### ○基金

区分	金額
一般会計	
財政調整基金	5億1,197万円
減債基金	2億9,923万円
地域振興基金	5億2,342万円
公共施設等整備管理基金	7,018万円
福祉基金	2億9,986万円
桜ヶ丘霊園基金	711万円
産業振興基金	1億5,023万円
学校教育施設整備基金	0円
生涯学習・スポーツ振興基金	8,151万円
学校基金	0円
特別会計	
奨学基金	1億2,669万円
国民健康保険基金	1億1,122万円
介護保険基金	2億9,530万円
保健福祉施設基金	2,129万円

### ○土地・建物

区分	面積
土地	
公の施設	439万5,809㎡
山林	541万2,258㎡
その他	92万7,916㎡
計	1,073万5,983㎡
建物	25万 178㎡

### ○有価証券・出資による権利

区分	金額
有価証券(株券)	4,224万円
出資金・出えん金	7,497万円

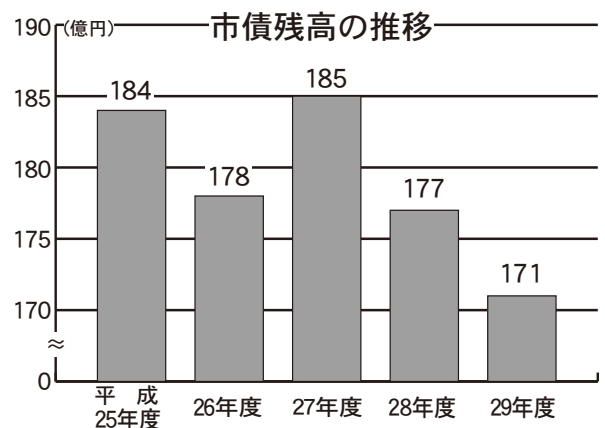
### ○北海道市町村備荒資金組合納付金

区分	金額
普通納付金	1億 497万円
超過納付金	11億1,491万円
合計	12億1,988万円

## 市債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業各会計の市債残高の合計は、下のグラフのとおりです。

区分	平成29年度末現在高	平成29年度元利償還金
一般会計	99億2,466万円	8億8,111万円
下水道事業特別会計	35億8,556万円	4億6,360万円
介護サービス事業特別会計	5億 163万円	5,796万円
病院事業会計	6億1,485万円	2億2,040万円
水道事業会計	25億1,189万円	2億5,185万円
合計	171億3,859万円	18億7,492万円



## 平成29年度 主な事業の決算額

事業名	決算額	事業の成果の内容
市有物件除却事業	1,995万円	「芦別市公共施設等総合管理計画」第1期アクションプランに基づき、財政負担の軽減・平準化を図るため、老朽化等により利活用の見込みのない旧頼城小学校教員住宅の除却工事を実施しました。
コミュニティセンター整備事業	5,499万円	頼城多目的研修センターの移転に伴う改修工事等を実施し、地域住民が利用しやすいコミュニティセンターの運営を図りました。
小規模保育事業所整備事業	8,395万円	厚生労働省が定める小規模保育事業所を整備することにより、保育を必要とする満3歳未満の乳幼児に対し、必要な保育の場を確保することができることから、乳幼児の福祉の向上を図ることを目的として、施設整備に係る費用の補助を行いました。
ごみ収集事業	1,646万円	既存のごみ収集車の老朽化により、ごみ収集作業に支障のないよう更新しました。
ごみ処理事業	2,959万円	生ごみの広域共同処理を円滑に遂行するため、3市2町で構成される中空知衛生施設組合に対する地元負担金を支払いました。
し尿収集事業	3,213万円	既存のし尿収集車の老朽化により、し尿収集作業に支障のないよう更新しました。
国営かんがい排水事業	1,279万円	芦別北部地区国営かんがい排水事業により整備した施設を活用し、安定的な農業経営を図るため、国営土地改良事業芦別北部地区に係る地元負担金を支払いました。
森林環境保全整備事業	3,584万円	市内民有林における森林資源の確保、地元木材の価値の向上、民有林林業の振興及び京都議定書目標達成計画に伴う二酸化炭素の吸収源対策を図りました。
健民センター整備事業	5,800万円	スターライトホテルエレベーター改修工事及び星遊館改修工事実施設計を実施し、施設の安全管理と環境整備を図りました。
国設芦別スキー場整備事業	1,512万円	スキー場の適正な管理運営を図るため、各種リフトの整備工事を実施しました。
道路維持改良事業	1億 957万円	上芦別5条線ほか6路線の改良工事などを実施し、段差の解消及び高齢者や障がい者に配慮した歩車道の整備を図りました。
橋りょう維持改良事業	4,603万円	三角橋架替工事などを実施し、歩行者の安全と車両等の円滑な運行の確保を図りました。
除排雪事業	2,495万円	既存のロータリ除雪車の老朽化により、除排雪作業に支障のないよう更新しました。
公営住宅整備事業	5,898万円	改良住宅頼城団地除却工事、公営住宅ひばり第二団地及びあかつき団地の屋根ふき替え工事を実施し、住宅環境の充実を図りました。
公営住宅建替事業	2,387万円	公営住宅すみれ団地建替基本・実施設計などを実施し、住宅環境の充実を図りました。
中学校施設整備事業	1,833万円	芦別中学校3線校舎の電気暖房設備及び啓成中学校の暖房自動制御機器を更新し、教育環境の改善を図りました。
総合運動公園体育施設整備事業	1億 886万円	総合運動公園内における各施設の適正な管理運営を図るため、球技場芝生整備工事及び総合体育館床改修工事などを実施しました。
市民会館・青年センター整備事業	1,868万円	市民会館・青年センターの適正な管理運営を図るため、市民会館大ホール冷房機取替工事を実施しました。
合宿振興事業	1,220万円	宿泊交流センターの屋根ふき替え工事を実施し、合宿環境の充実を図りました。
災害復旧事業	1,563万円	平成28年8月に発生した豪雨による災害復旧を迅速に行うため、河川の復旧工事を実施しました。

### 都市計画税の用途状況をお知らせします

#### ■都市計画税の用途内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
下水道整備事業	7,285	1.3
地方債償還額(※)	536,261	98.7
合計	543,546	100.0

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

#### ■都市計画事業等の財源内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
都市計画税	60,993	11.2
地方債	5,700	1.1
一般財源等	475,268	87.4
その他	1,585	0.3
合計	543,546	100.0

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家屋を所有している方に、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

平成29年度の都市計画税(6,099万円)は、左記のとおり都市計画事業等(5億4,355万円)の財源として活用しました。



## 平成29年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率

### ●平成29年度決算に基づく健全化判断比率

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公表数値	—	—	7.6 (8.2)	90.9 (98.3)
早期健全化基準	14.39 (14.32)	19.39 (19.32)	25.0 (25.0)	350.0 (350.0)
財政再生基準	20.00 (20.00)	30.00 (30.00)	35.0 (35.0)	

※1 実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は「—」と記載しています。

※2 ( ) 内は平成28年度決算に基づく数値です。

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。平成29年度決算に基づいて算定された芦別市の健全化判断比率は、財政再建に取り組みなければならない基準(早期健全化基準)をいずれも下回っています。

**実質赤字比率(標準的な収入に対する赤字額)赤字なし** 一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

**連結実質赤字比率(標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額)赤字なし** 全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。家計簿に例えると、世帯主の収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

**実質公債費比率(標準的な収入に対する借金返済の負担割合)健全** 標準的な収入における地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額などが占める割合を示した指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

**将来負担比率(標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合)健全** 標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの残高が現在の収入に占める割合になります。

### ●平成29年度決算に基づく資金不足比率

企業会計・特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
市立芦別病院事業会計	14.1%	20.0%
下水道事業特別会計	—	20.0%

※資金不足比率がない場合は「—」と記載しています。

**資金不足比率(公営企業会計の事業規模に対する赤字額)** 市立芦別病院事業会計 14.1% 他の会計は資金不足なし 毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかを示した指標です。家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。

## 平成29年度寄付金の状況を公表します

### ■受領した寄付金の状況

区 分	件 数	金 額
個 人	1,878件	326,018,000円
企業・団体	8件	1,677,473円
合 計	1,886件	327,695,473円

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金が寄せられています。この貴重な寄付金は、市のまちづくりの大きな支えとして、有効に活用させていただいており、改めて感謝申し上げます。今後とも、皆様と「ふるさと芦別」の縁を大切に育ててまいりたいと考えておりますので、芦別の発展に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ○寄付金の活用状況

事業区分	活用事業	
平成29年度に頂いた	生活・環境に関する事業	市内バス路線運行業務委託事業、コミュニティセンター管理運営事業、土地改良事業、森林資源確保事業、地域振興基金積立金など
	産業・経済に関する事業	新規学卒者等雇用奨励金、ふるさと就職奨励金など
	保健・医療・福祉に関する事業	長寿祝品贈呈事業、高齢者温泉等利用扶助事業、市立芦別病院医療機器等購入資金など
	教育・文化に関する事業	市内小学校整備事業、ポップスコンクール等開催事業補助金、奨学基金積立金など
	その他まちづくりに関する事業	市内イベント開催委託事業、駅前歓迎塔除却事業、合宿・スポーツ振興事業、生涯学習・スポーツ振興基金積立金など
	ふるさと納税促進に関する事業	ふるさと納税感謝特典報償費、ふるさと納税周知用ポスター製作費など
平成29年度に頂いた寄付金合計3億2,769万5,473円は、上記の事業に活用させていただきました。		
平成28年度までに頂いた寄付金	まちづくり推進事業	芦別市まちづくり推進事業に対する補助金として
	三井地域振興事業	頼城多目的研修センター改修工事費及び頼城多目的研修センター歩行者用通路造成・舗装工事費として
	滝里ダム地域振興事業	滝里ダムオートキャンプ場管理運営費、コテージ屋根塗装工事費及びウッドデッキ改修工事費として
	花と木・緑化推進事業	花と木・緑化推進業務委託料の一部として
	福祉事業	総合福祉センター管理運営費の一部として
	桜ヶ丘霊園運営事業	桜ヶ丘霊園管理運営費の一部として
	農業担い手育成事業	農業経営基盤確立借入金償還利子補給金として
	企業振興事業	企業振興事業に対する補助金の一部として
	観光振興事業	星の降る里観光宣伝事業等業務委託料及び観光振興計画策定等業務委託料の一部として
	青少年健全育成事業	青少年健全育成活動事業に対する補助金として
	スポーツ振興事業	スポーツ振興事業に対する補助金として
文化財保護事業	新城仙台山三本ナラ保護処理修繕費として	
学校教育施設整備事業	市内小学校普通教室扇風機等設置事業費及びパソコン教室エアコン設置事業費として	
平成28年度までに頂き基金に積み立てしていた寄付金のうち、4,000万4,505円を上記の事業に活用させていただきました。		